

# 研究開発費における 費用対効果の算出

—研究成果の可視化により、資源の最適配分を図る—

- 日時● 2019年2月8日(金) 10:30~16:30
- 会場● 東京・麹町『企業研究会セミナールーム』 TEL:03-5215-3516
- 講師● 浅井技術経営オフィス 代表 浅井 政美 氏

【経歴】 1974年3月 富山大学 文理学部 物理学専攻 卒業  
 1974年4月 電子計算機メーカーでオンライン・データベースシステム開発に従事  
 1979年8月 富士ゼロックス株式会社入社 ワークステーションのソフトウェア開発に従事  
 1982年6月 米国、ゼロックス(株) システムソフトウェア開発部 3年間ワークステーションの  
 通信関連ソフトウェアの共同開発に従事  
 1992年10月 技術企画部 全社技術戦略の策定に従事  
 1996年10月 技術開発センター 技術計画部 長期技術戦略策定に従事  
 2001年1月 ITメディア研究所 研究戦略策定に従事  
 2002年10月 技術企画部 全社技術戦略の策定、R&D ポートフォリオ策定に従事  
 2009年4月~2012年3月 R&D 企画管理部 全社技術戦略の策定に従事  
 2012年5月~2015年3月 一橋大学 イノベーション研究センター プログラムオフィサー 特任講師  
 2015年4月~現在 浅井技術経営オフィス 代表

## ◆開催にあたって

技術経営の目的は、技術を如何に経営に生かしていくかである。実際は、技術が経営計画あるいは事業計画を担保するための方策を見出すということであり、短期・中期・長期の研究開発テーマへの研究開発費の投入バランスが大きな課題である。課題解決のために、技術の費用対効果を測定することが大変重要である。適切な技術の費用対効果の測定により、研究開発費の投入バランス、重点研究開発領域の特定、技術開発テーマの GO/NO-GO の判断に役立つ。

本講演では、技術の費用対効果に重点を置き、研究開発の費用対効果の実際的な算出法の例、技術体系の構築及び技術ポートフォリオ、研究開発テーマについての分析・評価手法及び管理、見える化の考え方について説明する。

《詳細は裏面をご覧ください》

### ●受講料● 1名 (税込み、昼食、資料代含む)

正会員	43,200円	本体価格 40,000円
一般	46,440円	本体価格 43,000円

●正会員の登録の有無など、よくあるご質問 (FAQ) は、当会ホームページでご確認いただけます。

(〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕)

●お申込み後 (開催日1週間~10日前までに) 受講票・請求書をお送り致します。

●お申込み後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。

●最少催行人数に満たない場合ほか、諸般の事情により開催を中止させていただく場合もございます。

●FAXでお申込の際、「0 (ゼロ) 発信のFAX機」をご使用の場合は、必ず「0」を押してから、番号入力をお願い致します。(別番号への誤送信にご注意ください。)

一般社団法人企業研究会

担当：福田 E-mail fukuda@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2MFPR 麹町ビル 2F

TEL 03-5215-3516 FAX 03-5215-0951

申込方法 当会ホームページよりお申込みください。 <https://www.bri.or.jp>

企業研究会セミナー

181880-0610 (※)		2019.2.8																									
<table border="1"> <tr> <td>申込書</td> <td colspan="3">研究開発費における 費用対効果の算出</td> </tr> <tr> <td>会社名</td> <td colspan="3">フリガナ</td> </tr> <tr> <td>住所</td> <td colspan="3">〒</td> </tr> <tr> <td>TEL</td> <td></td> <td>FAX</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ご氏名</td> <td>フリガナ</td> <td>所属 役職</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Eメール</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>				申込書	研究開発費における 費用対効果の算出			会社名	フリガナ			住所	〒			TEL		FAX		ご氏名	フリガナ	所属 役職		Eメール			
申込書	研究開発費における 費用対効果の算出																										
会社名	フリガナ																										
住所	〒																										
TEL		FAX																									
ご氏名	フリガナ	所属 役職																									
Eメール																											

【個人情報の利用目的】お客様の個人情報は、お申込受付後のご連絡やご請求等を行うため、また、ダイレクトメールの発送等、当会主催の各種事業をご案内するために利用させていただきます。

# 研究開発費における 費用対効果の算出

## ●プログラム●

10:30

### I. 研究開発とは

- (1) 課題認識と貢献の構造
- (2) 研究開発費の位置付け
- (3) 研究開発の評価
- (4) フェーズ管理
- (5) 研究開発プロセスと研究開発フェーズとの関係
- (6) 技術の生産性指標
- (7) 研究開発のプロセスと結果
- (8) 研究開発プロセスの改善
- (9) 技術体系と技術マネジメント

### II. バリューチェーンと収益

- (1) バリューチェーンと収益の考え方
- (2) バリューチェーン毎の収益と費用の考え方

### III. 研究開発データの種類と収集法

- (1) 研究開発データ
- (2) 研究開発データの収集方法

12:00

昼食休憩

13:00

### IV. 研究開発における費用対効果の算出

- (1) 研究開発テーマと研究開発プロジェクト
- (2) 研究開発での収益と費用の考え方
- (3) 研究開発の売上への貢献度の算出
- (4) 技術の費用対効果の計画と実施
- (5) 技術の生産性指標を用いた費用対効果
- (6) 売上を商品機能に配賦した費用対効果

### V. ポートフォリオ分析とテーマ評価

- (1) 技術体系
- (2) 技術体系の構築の概要
- (3) 技術体系の構築の実際
- (4) 技術体系の構築計画
- (5) 市場と技術の適応領域
- (6) 新規領域におけるテーマ評価
- (7) 技術ポートフォリオとは
- (8) 技術ポートフォリオの種類
- (9) 自社に必要な技術ポートフォリオ
- (10) 技術ポートフォリオの作成プロセス
- (11) 技術ポートフォリオの分析
- (12) 技術ポートフォリオの効用
- (13) 技術ポートフォリオの課題/限界

### VI. まとめ

### VII. 演習

- (1) 技術ポートフォリオの作成の演習
- (2) 技術の生産性指標の作成演習

16:30

※講師とご同業の方は受講をお受けしかねる場合がございます。予めご了承ください。